

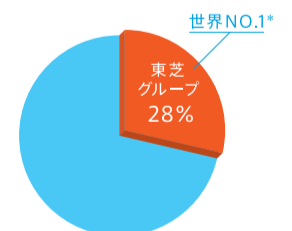
なぜ東芝は、
原子力事業をやっているの？



東芝がつくる135万kW級 最新鋭の沸騰水型原子炉1/10スケール模型

1000年先の地球環境を考えること。1000年先までエネルギーに貢献すること。
それこそが、私たち東芝の使命だと感じているからです。

原子力は発電過程で地球温暖化の原因となるCO₂を排出しないエネルギー。しかも、燃料をリサイクルすることで、2500年以上の長きにわたってエネルギー供給が可能。そこで東芝グループは、これまで約半世紀の間、原子力プラント建設に携わってきました。その数、世界10カ国112基。現在では、世界シェアNO.1*の実績をもつ原子力のリーディングカンパニーです。今後も安定的なエネルギー供給をサポートするために、プラント建設はもちろん、燃料の確保から保全サービス、次世代炉の研究開発まで、東芝は技術で貢献し続けます。 *原子力発電設備容量において(2008年8月当社調べ)



原子力発電設備容量シェア

1000 YEARS ENERGY

エネルギーをつくる。CO₂は、つくらない。

「1000年先の地球」を見据えて、原子力をリードする。 東芝の原子力事業